



スポーツの「実践研究」の 地位を向上させるために ～その考え方と具体的な研究方法～

講師

山本 正嘉 氏

鹿屋体育大学スポーツトレーニング教育研究センター長
同大学スポーツ生命科学系教授

スポーツの研究分野に「実践研究」というジャンルがあります。トレーニングの研究でいうと、あるトレーニングが有効かどうかを検証するために、たくさんの被験者を集め、対照群も作って、運動条件を厳密にコントロールするやり方ではなく、実際のトレーニング現場で、一人あるいは少数を対象として得たデータから、有益な知見を導き出そうとするのが実践研究です。しかし現状では、前者に比べて後者は価値がより低いという先入観があり、そのため研究自体も不活発です。本講演では、従来型の研究と実践研究とが対等の価値にあることを示すとともに、実践研究を活性化していくための具体的な研究方法についてお話しいたします。

スポーツの現場には欠かせない研究分野について詳しく学べる貴重な機会です。多くの学生、教職員、一般の方のご参加をお待ちしております。

日時

2016年11月15日(火)

17:00 ~ 18:30

場所

豊田キャンパス14号館

2階大会議室

《講師紹介》

山本正嘉 Masayoshi Yamamoto

- 東京大学大学院修了・博士(教育学)。国際武道大学を経て現職。
2つの体育大学で30年以上にわたり、運動生理学とトレーニング学についての教育と研究を行う。
- スポーツ選手におけるハイパワーの持続能力や、低酸素トレーニングなどのテーマで研究と実践を行うかたわらで、自身の専門である登山の実践と研究をライフワークとして、ヒマラヤで8000m峰の無酸素登山なども行ってきた。
- 主著は『登山の運動生理学百科』(200年)、『登山の運動生理学とトレーニング学』(近刊)。2001年に秩父宮記念山岳賞を受賞。

